



●病院理念●

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します

ホームページ <https://hospital.ompu.ac.jp/>

病院ホームページ



発行
大阪医科薬科大学病院



今春より「機能改善 外科チーム」が始動しました



当院では今春より、『超高齢社会に即した身体機能の改善』、そして『高血圧症や糖尿病などの慢性疾患に対する代謝機能の改善』に特化した外科治療を開始しました。

私たちは人生100年時代に暮らしていますが、健康寿命をできるだけ維持することが大切です。加齢による筋力低下が原因となり食道裂孔ヘルニア、鼠経ヘルニア、直腸脱、子宮脱などが発症し、日常生活に支障を来しておられる方々の訴えを耳にすることが多くあります。このような疾患に対する外科治療の進歩は目覚ましいものがあり、1cmに満たない小さな穴から体内に到達して脆弱な部分を補強修復することで身体機能の改善を図り、生活の質の向上が期待できます。

一方で、高血圧症や糖尿病などの慢性代謝性疾患は、身体だけでなく精神的にも経済的にも長期にわたる負担を強いられます。当院では、慢性代謝性疾患を伴う高度肥満症に対して横断的なチーム医療で包括的な支援を行っています。

私どもは、多様化する超高齢社会に即した外科医療をいち早く展開し、これまで以上に地域社会に寄り添い、期待に応えられる未来型の医療を提供いたします。

消化器内視鏡センターで「胃カメラのオープン検査」を開始しました

“最近、胸焼けや胃痛が気になるなあ。逆流性食道炎かな…？胃潰瘍かな…？ひょっとして食道がんや胃がんかな…？”など、少しでも気になる症状がある患者さんは、一度かかりつけの先生に相談してみてください。かかりつけ医に内視鏡設備が無くても、当院で胃カメラ検査を受けていただけます(結果説明は、かかりつけの先生からしていただけます)。経鼻または経口カメラの選択、また苦痛の少ない鎮静下での検査も可能です。当院の内視鏡は、最新機器による診断精度の高い検査をご提供いたします。是非この機会に当院で胃カメラを受けていただき、病気の早期発見・早期治療に努めましょう。

上部消化器内視鏡検査(胃カメラ)のオープン検査を開始しました

消化器内視鏡センター
Endoscopy Center



設備の充実した内視鏡室で安心して受けていただけます

最新の内視鏡機器で診断します

- ・経鼻or経口内視鏡の選択可能です
- ・経口の場合、鎮静下での検査も可能です(自転車・バイク・自動車での来院はお控えください)



内視鏡検査結果は速やかにかかりつけの先生にご報告します

「第10回世界糖尿病デー in 大阪医科薬科大学」を開催します(2023年11月1日～30日)

11月14日は増え続ける糖尿病を抑制するために考えられた世界糖尿病デーです。本年のテーマは、「災害時とシックデイ※」です。11月中は糖尿病ケアチームで作成したホームページを開設いたしますので、ぜひご覧くださいませ。また、11月14日は院内でポスター掲示やクイズなどのイベントを行いますので、ぜひお立ち寄りください。※糖尿病の方が、感染症にかかり、熱が出る・下痢をする・吐く、また食欲不振によって、食事ができないときのことを『シックデイ』(体調の悪い日)と言います。

～災害時とシックデイの対処法について考えよう～ 糖尿病ケアチームがお答えします！

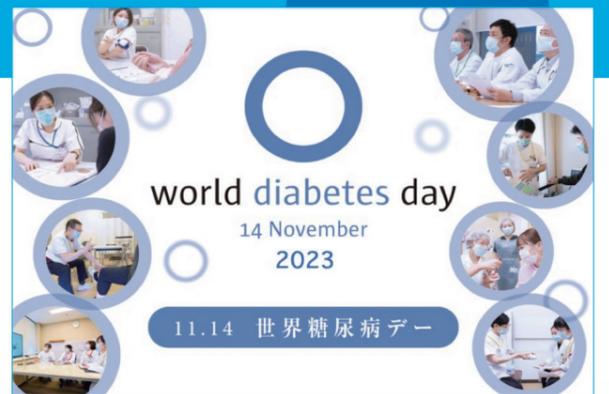
災害時では日常生活でも普段からの備えが大切ですが、糖尿病についてもシックデイの対応など、災害時に対して普段からの備えが大切です。この機会に災害時の対応についての見直しにお役立てください。

糖尿病ケアチームとは？

糖尿病治療では、食事・運動をはじめ、お薬の管理など、気をつけなくてはならないことがたくさんあります。当院の糖尿病ケアチームは、8つの職種が協力して関わることで、より良い糖尿病との付き合い方、また、合併症の予防につながるようサポートしていくことを目標としています。

大阪医科薬科大学病院 糖尿病ケアチーム

ホームページは下記URL
もしくは2次元バーコードよりアクセスしてご覧ください。
https://www.ompu.ac.jp/u-deps/in1/met/wdd_omc/



アレルギーセンター市民公開講座



テーマ：『夏のスキンケア』

8月5日、高槻まつりと同日に第2回アレルギーセンター市民公開講座を開催いたしました。今回は酷暑の夏にふさわしく、テーマを『夏のスキンケア』といたしました。福永副センター長から「皮膚科医目線のスキンケアのウソと本当～アトピー性皮膚炎を中心に～」について、むらた小児科 二階堂さん(アレルギー専門看護師)から「実践！夏のスキンケア」について、それぞれ講演が行われました。その後、当院皮膚科による保湿・手指の洗い方・日焼け止めの塗方等のセミナーを開催いたしました。会場で60名以上、WEBで40名と多数の方々にご参加いただきました。講演60分、ハンズオンセミナー40分という構成でしたが、あっという間に時間が過ぎ、盛況のうちに終了いたしました。来年は喘息患者さんを主な対象として吸入指導の市民公開講座を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

2023 9/11～16 「世界患者安全週間」 開催のご報告



9月17日は、WHOの定める「世界患者安全の日」で、今年のテーマは「患者安全のために患者を参加させる (Engaging patients for patient safety)」です。当院では、患者安全を促進するために9月11日(月)～16日(土)を『世界患者安全週間』とし、様々なイベントを行いました。

正面玄関とA棟西側出入口にテーマカラーのオレンジ色の花を設置し、9月15日には、人気の高槻市マスコットキャラクター「はにたん」を1日医療安全推進室長としてお招きしました。また、職員はオレンジ色の医療用マスクを着用し、患者さんやご家族に誤認防止やお薬手帳の活用を促すメッセージが記されたポケットティッシュを配布しました。さらに、これらのポケットティッシュは近隣の病院や調剤薬局でも配布され、午後には市民や近隣の病院も参加する医療安全研修会を開催し、患者さん参加型の医療について学びを深めるとともに、啓発活動を行いました。

大阪医科薬科大学病院 ボランティアグループ「ふれあい」の 活動状況のご報告

3月雛人形飾り、5月五月人形飾り、7月七夕笹飾りを7号館に展示しました。7月26日には笹飾りの短冊254枚を三島鴨神社に奉納し、御焚き上げをしていただきました。

なお、8月現在、当院ではボランティアグループとして初診案内・患者誘導グループ(5月23日活動再開)、患者さん図書グループ(6月20日活動再開)、縫製グループ、季節の飾り月曜日・季節の飾り水曜日、グリーングループ(ふれあい花壇・フラワーリンクのメンテナンス)、エコキャップグループ、通信グループ切手収集、絵手紙、押し花、パステルアートが活動しています(小児科病棟のイベント活動は休止しています)。

初診案内・患者誘導再開



患者さん図書再開



七夕飾りコーナーの案内風景

グリーングループ春季一斉花苗作業のみなさん



「大学病院新本館」建築ニュース

8月中旬に旧中央診療棟の解体工事を終え、9月6日には無事に病院新本館B棟の新築工事が着工しました。今後も、2025年の病院新本館B棟の竣工に向けて安全に工事を進めてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします(その他関連施設の工事は、2028年まで続く予定です)。

